

人気の「御城印」をゲットしよう！

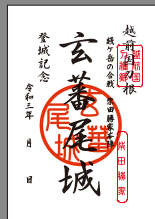
城めぐりをする観光客やお城ファンから今、絶大な人気を集めているのが、御朱印のお城版ともいえる「御城印」。

季節やテーマに合わせて限定版や武将印を出すところもあり、コレクションが楽しめます。販売が終了している場合もあるのでご注意ください。

(玄蕃尾城は無料。ほかはいずれも1枚300円)



金ヶ崎城
金崎宮社務所
☎0770-22-0938



玄蕃尾城
敦賀市文化振興課
(平日のみ)
☎0770-22-8152



国吉城
若狭国吉城歴史資料館
☎0770-32-0050



熊川城
若狭鯖街道
熊川宿資料館(宿場館)
☎0770-62-0330



小浜城
山川登美子記念館
☎0770-52-3221



後瀬山城
若狭おばま観光案内所
☎0770-52-3844



碓導山城
佐伎治神社本殿
☎0770-72-0041
高浜まちづくりネットワーク
☎0770-72-2740



高濱城
佐伎治神社本殿
☎0770-72-0041
高浜まちづくりネットワーク
☎0770-72-2740

●小浜線の最新情報は
おばまセンドットコム



●観光情報なら
FUKUI 若狭 ONE WEB
(一社)若狭湾観光連盟



●若狭路をお得にめぐろう！
LINE とれくる Pon



福井県嶺南振興局嶺南プロジェクト推進室 ☎ 0770-56-2212



この駅から、 あの城跡へ。

海、山、里の風景を車窓に見ながら走るJR小浜線。沿線には地域の歴史を刻んだ多くの城跡が残っています。かつて若狭路には、土地の特色や時代のうねり、そこに陣取った武将のキャラクターを色濃く映した個性的な山城が築されました。小浜線に乗って駅から城へ、鉄道と城跡めぐりを同時に楽しむ、のんびり旅に出かけましょう。心地よい汗をかいて山城へ登れば、体も心もリフレッシュ。長い歴史に思いをはせ、戦国時代へタイムスリップした気分を味わってみませんか。

JR小浜線で めぐる若狭路の城跡



信長、秀吉、家康が揃い踏み

かね が さき じょう

金ヶ崎城

JR敦賀駅

敦賀市金ヶ崎町



「二の城戸」付近の堀切



本丸があったとされる「月見御殿」近くに建つ古戦場跡石碑

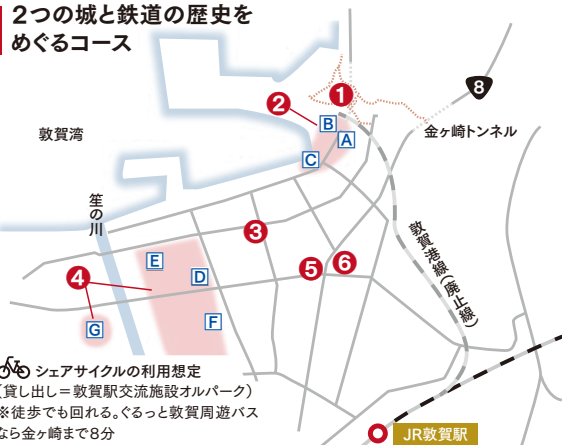


天筒山展望台から見下ろした敦賀湾

3つの城戸の大きな堀切

南北朝時代には、足利尊氏から逃れた新田義貞が後醍醐天皇の皇子の尊良・恒良親王とともに籠城し、激戦を繰り広げた。戦国時代には越前朝倉攻めに向かう織田信長が徳川家康、豊臣秀吉らとともに侵攻して天筒山城、金ヶ崎城を攻略したが、浅井長政の裏切りを察知して退却。「金ヶ崎の退き口」として有名な撤退戦の舞台となった。国指定史跡。

2つの城と鉄道の歴史をめぐるコース



🚲 シェアサイクルの利用想定
(貸し出し＝敦賀駅交流施設オルパーク)
※徒歩でも回れる。ぐるっと敦賀周遊バスなら金ヶ崎まで8分

【JR敦賀駅】→(自転車13分)①金崎宮・金ヶ崎城→(自転車2分)②金ヶ崎緑地周辺(📍赤レンガ倉庫📍人道の港 敦賀ムゼウム 📍敦賀鉄道資料館)→(自転車5分)③みなとつるが山車会館・敦賀市立博物館→(自転車8分)④敦賀城関係遺構(📍敦賀西小学校 📍真願寺 📍八幡神社 📍来迎寺)→(自転車7分)⑤中道源蔵茶舗→(自転車1分)⑥氣比神宮→(自転車6分)【JR敦賀駅】

登山MAP

(登山口から一の城戸まで往復約60分、天筒山展望台まで往復約110分)

①金崎宮の本殿に向かって左手奥の「花換の道」から城跡へと進む。②三叉路を左へ折れて進むと月見御殿跡に到着。③来た道を少し戻り、三叉路を左に折れると三の城戸、二の城戸、一の城戸へと続く。④天筒山まで足を延ばす場合は、一の城戸から20分ほどで天筒山展望台到着。



＼たち寄りスポット／

②📍敦賀鉄道資料館



敦賀市港町1-25
☎0770-21-0056
敦賀の鉄道や港の歴史を紹介。小浜線に関する展示もある。

③みなとつるが山車会館

敦賀市相生町7-6
☎0770-21-5570
豊臣家の重臣であり敦賀を治めた戦国武将・大谷吉継や敦賀城に関する資料を多数展示。

④敦賀城関連遺構

敦賀西小学校に敦賀城跡案内碑が建つほか、真願寺には城の礎石、八幡神社には敦賀城内にあったとされる欄間飾り、来迎寺には城から移築されたという中門などが残っている。

⑤中道源蔵茶舗



敦賀市神楽町1-1-8
☎0770-22-4507
江戸、明治と運送業に携わり、戦後、日本茶専門店となった老舗。濃茶パフェや抹茶ソフト、ぜんざいなどメニュー豊富。

「難攻不落」を誇った国境の城

くに よし じょう

国吉城

JR美浜駅

美浜町佐柿



本丸跡と北西に延びる連郭曲輪群の尾根を断ち切る堀切の石垣



高土塁(左手前)や喰違虎口の残る伝二ノ丸跡



国吉城の山頂付近から見下ろした若狭湾。右手前には岩出山砦跡がある

時代ごとに違う石垣に注目

越前国と国境を接して若狭を守る「境目の城」として、若狭武田氏の重臣・栗屋勝久が築いたとされる。標高197.3mの頂上部に本丸跡、西の尾根の先端部には高土塁に囲まれた伝二ノ丸跡、北西尾根筋には連続する曲輪群がある。永禄6年(1563)から約10年にわたり越前朝倉勢と激しい攻防を繰り広げ、難攻不落を誇った。続日本100名城。

山城と丹後街道、海・湖も望むコース

🚲 レンタサイクルの利用想定
(貸し出し＝美浜駅構内の若狭美浜観光協会)



【JR美浜駅】→(自転車20分)①若狭国吉城歴史資料館・国吉城→(徒歩5分)②徳賞寺→(自転車3分)③佐柿の町並み見学(高札場跡など)→(自転車9分)④美浜町歴史文化館→(自転車18分)⑤中西製菓→(自転車8分)⑥瑞林寺→(自転車16分)⑦五湖の駅→(自転車5分)【JR美浜駅】

登山MAP (登山口から山頂まで往復約60分)

①資料館に向かって左後方から城山登山口へ進む。左側には城主居館跡が広がっている。②獣害防止のフェンスを開けてつづら折りの坂を登る。③10分ほどで伝二ノ丸跡との分岐点へ。本丸方面へさらに10分ほどで連郭曲輪群との分岐へ(標柱あり)。④最後にやや急な坂を登り、本丸跡に到着。登り口から20～30分。⑤伝二ノ丸跡や連郭曲輪群への道は未整備なので、注意して歩く。



＼たち寄りスポット／

①若狭国吉城歴史資料館



美浜町佐柿25-2
☎0770-32-0050
江戸時代後期の旧田辺半太夫家住宅を移築・再建した。国登録有形文化財。パネル展示や模型などを通して国吉城と城下町佐柿の歴史を紹介。

②徳賞寺

美浜町佐柿25-18
☎0770-32-1345
国吉城を築いた栗屋勝久が開山。禪画家でもある住職の作品をホールや本堂に展示(拝観希望の際はできるだけ事前連絡を)。

⑤中西製菓



美浜町久々子18-11
☎0770-32-0130
国吉城にちなんだ「難攻不落」の焼き印入り味噌まんじゅうを販売(事前の予約がおすすめ)。

⑥瑞林寺

美浜町早瀬20-24
☎0770-32-1038
2014年公開の映画「サクラサク」の舞台となった古刹。近くにある三宅彦左衛門酒造は、「早瀬浦」で全国に知られる。

光秀の盟友 細川家にゆかり

熊川城

JR上中駅

若狭町熊川



白石神社の背後の斜面に5本並んで掘られた「五条の畝堀」



テラスが設けられている張出郭



中段部分に連続して続く曲輪群

山城から宿場町が見下ろせる

若狭と近江の国境に位置する熊川は、戦国時代には京と若狭をつなぐ軍事的な拠点であり、この地を治めた室町幕府直属の家臣の沼田家が山城を築城した。主郭まで大小の曲輪群が連なり、畝状堅堀や櫓台などの遺構が残っている。沼田氏からは、足利直属の家臣・細川藤孝(幽斎)の妻であり嫡男忠興の母である麿香(じゃこう)が出ている。

戦国から江戸期へ、宿場の変遷をたどるコース



熊川宿まで西日本JRバス・若江線の利用想定
※レンタサイクルなら上中駅→熊川20～25分
(貸し出し＝上中駅)

※バス停は5カ所で乗降できる。
[A]新道口 [B]下新町 [C]若狭熊川
[D]橋町 [E]道の駅若狭熊川宿

【JR上中駅】→(西日本JRバス若江線・近江今津駅行き8分、「新道口」バス停下車)①得法寺→(徒歩1分)②熊川城→(徒歩1分)③若狭鯖街道熊川宿資料館(宿場館)→(徒歩)④熊川宿の散策(旧逸見勘兵衛家住宅、熊川番所など)→(西日本JRバス若江線・小浜駅行きバス8分、上中で下車)【JR上中駅】

登山MAP (登山口から山頂まで往復約50分)

①宿場町は「上ノ町」「中ノ町」「下ノ町」に分かれている。中ノ町にある白石神社の鳥居をくぐって参道を進み、さらに石段を上ると拝殿、本殿がある。②能舞堂の左手から案内看板に従って主郭へと進む。③ほどなく「五条の畝堀」があり、さらに7段にわたって連なる中段郭を通り、15分程度で主郭、櫓台跡へ至る。④能舞堂から主郭への道と分岐して、山腹の張出郭へ向かう道を進むと、展望デッキが設けられた張出郭へ至る。白石神社の参道に戻らず、ここから熊川陣屋跡に下りることできる。



／たち寄りスポット／

①得法寺

越前朝倉攻めへ向かう織田信長とともに熊川を通った徳川家康がこの地で泊まった際に座ったという「腰かけの松跡」がある。

③若狭鯖街道熊川宿資料館(宿場館)



若狭町熊川30-4-2
☎0770-62-0330

昭和15年(1940)に熊川村役場として建てられた。現在は、鯖街道や宿場町、熊川城に関する資料などを紹介している。

④熊川宿の町並み



天正15年(1589)に若狭の領主となった浅野長政により宿場町として整備され、若狭と京都を結ぶ「鯖街道」の拠点として繁栄した。江戸時代になると小浜藩主の酒井忠勝が熊川番所(写真下)を設けた。今でも街道沿いには旧逸見勘兵衛家住宅など情緒あふれる建物が連なる。名物の鯖寿司や熊川くずの店、古民家を改修したカフェもある。



若狭守護武田氏の本拠地

後瀬山城

JR小浜駅

小浜市伏原



本丸跡の西側に残っている石垣。武田氏より後の時代に築かれたとみられる



本丸跡の南西下に位置する土塁に囲まれた二の丸跡



北側の連郭群から本丸跡へ至る石段

本丸、二の丸跡で城主気分

若狭国守護武田氏の本城として大永2年(1522)に第5代元光が築城した。標高168.5mの頂上部に本丸跡と二の丸跡があり、北西と北東の稜線に連続する曲輪群、北西部には畝状堅堀群がある。北側の山麓には居館が設けられていた。二の丸跡からは多くの茶器が見つかっており、ここで茶の湯を楽しんでいたとみられる。国指定史跡。

山城、水城と城下町をめぐるコース

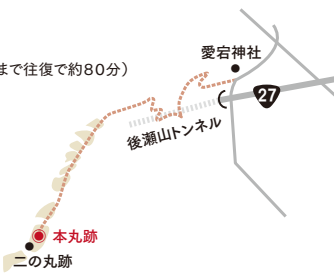


🚲 レンタサイクルの利用想定
(貸し出し＝小浜駅前の若狭おばま観光案内所)

【JR小浜駅】→(自転車8分)①後瀬山城→(自転車6分)②常高寺→(自転車3分)③小浜西組地区散策→(自転車12分)④小浜城→(自転車3分)⑤伊勢屋→(自転車4分)【JR小浜駅】

登山MAP (本丸跡、二の丸跡まで往復で約80分)

①国道27号「後瀬山東」交差点を北西に折れた約100mのところに、愛宕神社に向かう道がある(発心寺の石柱、石像が目印)。②愛宕神社の鳥居が登山口となる。石段を上ると後瀬山城の解説板があり、その下のポストにパンフレットが入っている。③5分ほど歩くと「本丸まで約20分」の看板。④その後、最初はややきつい登りだが10分ほどで連続する曲輪群へ。さらに堀切、土橋を見ながら進み、最後の石段を上って本丸跡到着(登山口から25～30分)。⑤本丸跡にある愛宕神社に向かって左後方(南側)から坂を下り、二の丸跡へ。



／たち寄りスポット／

②常高寺

小浜市小浜浅間1
☎0770-53-2327
浅井三姉妹の次女・お初(常高院)が、夫・京極高次の菩提を弔うため建立した。

③小浜西組地区

丹後街道を中心に東は商家町、西に「三丁町」と呼ばれる茶屋町や寺町が形成。格子窓や袖壁のある町家が立ち並ぶ。おしゃれなカフェなどもある。

④小浜城



小浜市城内1-7-55
後瀬山城に替えて京極高次が築城に着手。その後、城主になった酒井忠勝が寛永19年(1641)に完成させた。外周の石垣と天守台が残っている。

⑤伊勢屋



小浜市一番町1-6
☎0770-52-0766
天保元年(1830年)創業。地下水を使った夏限定の「くずまんじゅう」、冬は「丁稚羊羹(でっちゃんかん)」が人気。

佐分利を治めた武藤氏築く

石山城

JR若狭本郷駅

おい町石山



北側の尾根に階段状に連続する曲輪群



南の郭から南側へ延びる尾根を断ち切って造られた堀切



集落を背にした石山

階段状に連続する曲輪群

戦国時代に佐分利一帯を治めた若狭武田氏の家臣・武藤氏が、佐分利川流域を見渡す石山を中心に築いた。武藤上野介友益は、周辺の本郷氏や逸見氏と対立し、織田信長とも敵対したが、信長の命で派遣された明智光秀、丹羽長秀に石山城を攻められると退去し、城は破却された。発掘調査では山上の郭から多数の礎石が見つかっている。

佐分利川沿いの歴史満喫、食も愉しむコース

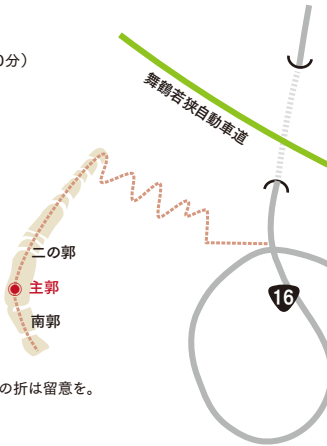


【JR若狭本郷駅】→(福井鉄道バス・本郷線17分、「佐畑」バス停で下車後、徒歩10分)①石山城→(徒歩9分)②カフェ・ギャラリー・フロカス→(徒歩6分)③くだものがかり→(「小車田」バス停へ徒歩2分、福井鉄道バス7分、「大飯中学校前」バス停下車後徒歩6分)→④若州一滴文庫→(バス停へ徒歩6分、福井鉄道バス12分)⑤情報交差点ばーたる→(徒歩1分)【JR若狭本郷駅】

登山MAP (山頂まで往復約40分)

①「佐畑」バス停からすぐの「佐分利大橋」交差点から南へ、郵便局を左手に見て直進。②舞鶴若狭自動車道の高架をくぐると、まもなく右手に登り口がある(ループした県道の直下)。③つづら折りのやや急な登山道を10分ほど登ると、曲輪群が見えてくる。④入り口から約20分で主郭到着。

※山頂周辺は発掘調査中のため、登山の折は留意を。



＼たち寄りスポット／

②カフェ・ギャラリー・フロカス



おい町石山21-1-5
☎0770-59-1023
名物の自家製揚げパンは、外がカリッとしていて、種類も豊富でいろんな味を楽しめる。

③くだものがかり

おい町小車田16-26
☎080-2958-6695
大型のハウスの中でイチゴ狩りが楽しめる(11月中旬～翌年5月末ごろ。要予約)。

④若州一滴文庫



おい町岡田33-2-1
☎0770-77-2445
直木賞作家、水上勉氏が故郷に設けた文学館。竹人形文楽が上演されるくま椅子劇場などもある。

⑤情報交差点ばーたる

おい町本郷153-26-1
☎0770-77-3300
若狭本郷駅とレールを挟んで隣接。外にSL義経号(レプリカ)、室内にはパノラマ鉄道模型がある。

県内最大規模、逸見氏の居城

碎導山城

JR若狭高浜駅

高浜町宮崎



東に延びる尾根部分にある堀切



山頂の妙見宮へ至る石段



妙見宮からの若狭湾の眺め。高浜城跡や明鏡洞が見える

多数の遺構、まるで要塞

佐佐治(ささち)神社の背後にある妙見山(標高142m)の山上を中心に広がる県内最大規模の山城。若狭武田氏の重臣・逸見氏が居城とした。曲輪群、堀切、帯曲輪などの遺構が数多く残る。逸見昌経は永禄4年(1561)に武田氏の家督争いに乗じて碎導山城に立てこもったが、武田・朝倉連合軍に敗れて落城。昌経は永禄8年、海岸部に新たに高浜城を築き、居城とした。

山城と海城、逸見氏の足跡をたどるコース



【JR若狭高浜駅】→(自転車5分)①高浜町郷土資料館→(自転車3分)②佐佐治神社(徒歩)③碎導山城→(自転車7分)④UMIKARA→(自転車2分)⑤高浜城跡→(自転車3分)⑥源六餅本舗→(自転車3分)【JR若狭高浜駅】

登山MAP

(登山口～妙見宮～下山で約120分)



①佐佐治神社境内の休憩所に縄張図がある。社務所左手の脇道を進み、「碎導山見学ルート登り口」から登山開始。②「順路」の看板を自印に進み「天王山曲輪千丈ヶ嶽曲輪」の看板で左に折れると天王山曲輪へ。③道を戻り進むと2つの大きな堀切や切岸が見られる。④千丈ヶ嶽曲輪へはロープを使い登る(自信のない方は登らず脇道を進むこと)。⑤ロープで下りて進むと「土橋」が見られる。⑥さらに進み「愛宕宮曲輪 忠魂碑曲輪」の看板横の階段を上り愛宕神社、さらに妙見宮へ。明鏡洞や城山公園が眼下に広がる。※山歩きに慣れていない方は、佐佐治神社本殿向かって右手の「妙見山遊歩道」の標柱から登山を開始し、塗装された登山道を歩き妙見宮へ。

＼たち寄りスポット／

①高浜町郷土資料館

高浜町南団地1-14-1
☎0770-72-5270
碎導山城、高浜城を築いた逸見昌経に関する資料を展示。館の前には昌経の銅像も。

④UMIKARA

高浜町塩土5-1
☎0770-72-3528
漁港に隣接した魚と食の複合型マーケット。新鮮な魚の販売や「うみから食堂」、テラス空間も。

⑤高浜城跡



高浜町事代
碎導山城の落城後、永禄8年(1565)に逸見昌経が小さな半島部に築いた海城。名勝「明鏡洞」と隣り合っている。

⑥源六餅本舗



高浜町三明2-56
☎0770-72-0022
ニッキ、よもぎ、ピンクの三色がある、歴史のある和菓子。包装紙には「城山公園」など地元の名所があらわれている。

城の種類や、防御のために
設けられた施設について
簡単に知っておくと、
城跡めぐりは
もっと楽しくなるはず。

城郭の最も基本的な施設で、山の斜面を削平して平坦にしたところ。郭ともいう。兵が駐屯したり、櫓(やぐら)や建物を配置したりする場合もある。曲輪のまわりに帯状に設けられるものは帯曲輪と呼ぶ。

尾根づたいに攻めてくる兵を阻止するため、尾根を溝状に断ち切った堀。

斜面に対して直角に掘られ、曲輪などを取り囲んだ堀。
反対に、敵の横移動を防ぐため斜面と並行に掘ったのが豎堀。

曲輪のまわりの斜面などに掘られたもので、
 豎堀が密に横に連続しているものをいう。

堀切を造る際、一部だけを掘り残して渡れるようにした橋。

曲輪の中でも中心的なものをさす。主郭ともいう。主に城主が陣取る。

曲輪や居館、屋敷を防御するために設けられる、土で積み上げて囲む防塁。

注)このガイドブックで使われている城に関する用語は、それぞれの城のパンフレットや案内看板を参考にしてしているため、表記に一部ばらつきがあります。

ルール、マナーを守ろう

- ・城跡は、山中や丘の上などにあることが多いので、ハイキングや軽登山程度の装備がおすすめです。

・城跡は文化財であるとともに、多くは私有地にあることを認識したうえで、各種のルール、マナーに従って登城してください。遺構などにむやみに触れないようにし、発掘調査を行っているような場所には立ち入らないようにしましょう。

・また、登山道が未整備の山城も少なくありません。道があっても滑りやすいところもあります。十分注意して歩きましょう。

・動物や虫にも注意。自己責任で登ってください。

・ごみは必ず持ち帰ること。火気の使用は厳禁です。



日差し対策のほか、虫、藪、木の枝から肌、頭を守るため露出はなるべく少なく

頭部の保護や日差しよけのため帽子を着用

滑りやすい斜面もあり、
トレッキングシューズがおすすめ

両手の自由がきいて、
荷物の持ち運びもしやすい
リュックを推奨

岩肌や土の斜面、
藪などから手を守るため
手袋があると便利

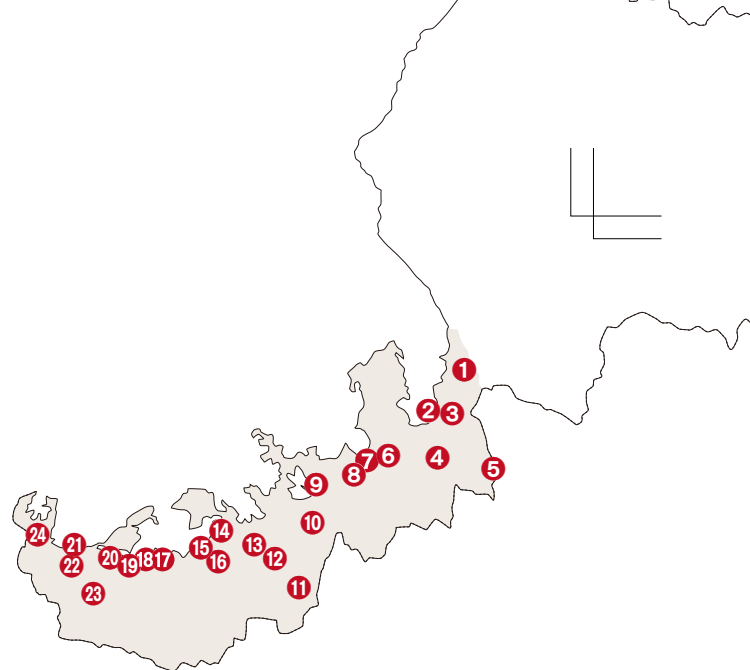
水分補給のため水筒やペットボトルを持参

非常食として、お菓子やパンなど手軽に食べられる軽食も携行するといい

山中ではクマや虫などにあう可能性もあるので携行が望ましい

福井新聞の連載「ふくいの山城へいざ!」から抜粋

- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| ①木ノ芽峠城砦跡(南越前町・敦賀市) | ⑨堂谷山城跡(若狭町) | ⑰稲葉山城跡(小浜市) |
| ②金ヶ崎城跡(敦賀市) | ⑩大倉見城跡(若狭町) | ⑱海坂山城跡(小浜市) |
| ③天筒山城跡(敦賀市) | ⑪熊川城跡(若狭町) | ⑲達城跡(おおい町) |
| ④疋壇城跡(敦賀市) | ⑫箱ヶ岳城跡(若狭町) | ⑳白石山城跡(高浜町) |
| ⑤玄蕃尾城跡(敦賀市・滋賀県) | ⑬新保山城跡(小浜市) | ㉑高浜城跡(高浜町) |
| ⑥中山、駈倉山、狩倉山の付城跡(美浜町) | ⑭天ヶ城跡(小浜市) | ㉒碎導山城跡(高浜町) |
| ⑦岩出山砦跡(美浜町) | ⑮小浜城跡(小浜市) | ㉓石山城跡(おおい町) |
| ⑧国吉城跡(美浜町) | ⑯後瀬山城跡(小浜市) | ㉔難波江城跡(高浜町) |



ガイドブックで個別に紹介した城跡以外で、全国的に人気が高いのが玄蕃尾城(敦賀市)です。柴田勝家が賤ヶ岳の合戦に臨む際に本陣として築きました。滋賀県の柳ヶ瀬との境界に位置。勝家の撤退後も各遺構がほぼ手つかずで残されています。



- ・敦賀市立博物館／敦賀市相生町7-8 TEL0770-25-7033 10:00～17:00
- ・若狭国吉城歴史資料館／美浜町佐柿25-2 TEL0770-32-0050 9:00～17:00(12月～3月は10:00～16:30)
- ・若狭鯖街道熊川宿資料館(宿場館)／若狭町熊川30-4-2 TEL0770-62-0330 9:00～17:00(11月～3月は16:00まで)
- ・若狭町歴史文化館／若狭町市場20-17 TEL0770-62-2711 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- ・福井県立若狭歴史博物館／小浜市遠敷2-104 TEL0770-56-0525 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- ・おおい町立郷土史料館／おおい町成和2-1-1 TEL0770-77-2820 9:00～18:00(入館は17:30まで)
- ・高浜町郷土資料館／高浜町南団地1-14-1 TEL0770-72-5270 9:00～17:00(入館は16:30まで)